

内閣府男女共同参画推進連携会議
国際的に連携した女性のエンパワーメント促進チーム

国際ゾンタ 26 地区の活動報告

国際ゾンタ 26 地区
ガバナー 三宅 定子



2012/11/13 UN Women ミチエル・バチェレ事務局長の来日を歓迎して（日本ゾンタ代表）

国際ゾンタとは、

奉仕と支援を通して全世界の女性の地位向上のために活動する世界的な社会奉仕団体です。1919 年 11 月 8 日にアメリカ合衆国ニューヨーク州バッファローにおいて設立されました。世界 63 ケ国に 1,200 以上のクラブがあり約 30,000 人の会員で運営されています。

ゾンタクラブの会員は、世界的な友好を通して理解・親善・平和の促進のために共に助け合い、女性の平等の権利、政治的な均等、教育と健康の享受、女性と子供に対する暴力の根絶など、国際ゾンタが提唱するプロジェクトを支援するために活動します。

日本のゾンタクラブは、東京 I ゾンタクラブが 1961 年（世界 63 ケ国中 16 番目の加盟）に国際ゾンタから認証されて 51 年が経ちました。世界 32 地区エリアの中、日本は 26 地区に属し 2012～2014 年ガバナー・三宅定子（岡山クラブ）氏のもと、全国に 49 クラブ、約 1,000 名の会員が活躍しています。

《26 地区の活動》

- ◆全国のクラブに WEPs(女性のエンパワーメント原則)情報を開示し、WEPs への署名を呼びかけた。
- ◆ゾンタ 26 地区公式 HP <http://zonta-d26.jp/topics.html> にアップした。(参考資料-1)
- ◆ガバナー個人の Face Book に WEPs 情報を開示し、WEPs への署名を呼びかけています。
- ◆国際ゾンタに活動報告（UN Women のミチエル・バチェレ事務局長の講演会に全国のゾンタ会員が参加し交流を深めたこと、WEPs に支持表明したこと、署名活動をサポートしている事など）をした。
(2012/11 月～2013 年 2 月 現在進行中)

- ◆国際ゾンタ「アドボカシー（政策提言）委員会」の地区委員長から、国際ゾンタへ日本の進捗状況の報告『日本ゾンタは内閣府男女共同参画局・UN Women 日本事務所とタスクフォースし WEPs の活動をサポートする経緯の説明』をした。
- ◆UN Women（国連女性機関）のミチエル・バチェレ事務局長が来日（2012/11/13 写真掲載）された際に開催された講演会等に全国から延べ 100 名近い会員が参加した。
- ◆2013 年 10 月 11 日～12 日に開催される地区大会（岡山コンベンションセンター於）で優先テーマとして取り上げ、その内容を 2014 年 7 月に米国オーランドで開かれる世界大会に 26 地区のステートメントを発表する予定です。

《エリアの活動》 日本は 4 エリアに分割

- ◆各エリアディレクターからクラブ会長へ、地域への啓発とクラブ会長へ署名の募集を配信。
- ◆エリア毎にまとめられた署名用紙は UN Women 日本事務所に郵送された。（現在も募集中）
- ◆5 月に開催される 4 エリアのエリアミーティング（会長会議）で WEPs への署名に関する進捗状況を報告し確認する予定です。
- ◆各エリア通信でこの情報を開示した。

《クラブの活動》

- ◆大阪Ⅱゾンタクラブの例会で UN Women 日本事務所所長代行 ミユキ・ケルクホフさんをお招きし、研修会を開催。クラブ会員のほか、26 地区広報委員長と奉仕委員長ならびに近隣のクラブ会長が参加した。
- ◆各クラブで WEPs 署名に関する重要性をワークショップで討議し、署名活動の推進をしています。

《国際ゾンタの活動》

- ◆UN Women のミチエル・バチェレ事務局長が、2012 年 7 月に開催された国際ゾンタ・世界大会（イタリア・トリノ於）でスピーチをされ、世界中の約 2400 名のゾンタ会員（日本から 104 名が参加）と交流を図った。
- ◆2013 年 3 月 3 日～15 日の第 57 回国連婦人の地位委員会（米国ニューヨーク・国連 於）に、リン・マッケンジー国際会長ほかメアリー・アン国連委員長など世界から 30 名のゾンシャンが参加され、国際ゾンタはふたつのパラレルイベントを開催します。ひとつ目はルワンダで行っている UNICEF との協働プロジェクトに関するもので、ふたつ目は人身売買についてです。（参考資料- 2）



左から、クリスティン・ヘトレパートナーシップ戦略部長、私、ミチエル・バチェレ事務局長